

第3回 持続可能で希望ある岩手を実現する行財政研究会

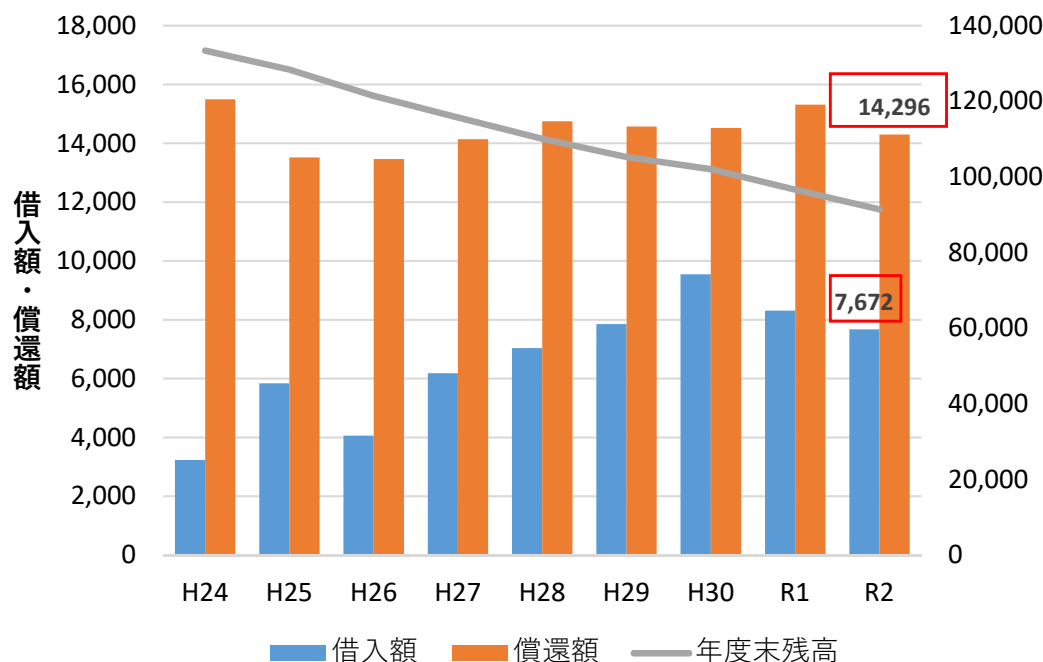
資料4 県立病院等事業会計の経営状況分析

企業債元利償還に係る繰出額について

○R②年度の企業債の借入額は約77億円、償還額は約143億円と極めて高い水準で推移している(全国1位の水準)。
 ○企業債元利償還金等の財源について、約半分程度を一般会計からの繰入金、残り半分程度を内部留保等で対応している。
 ※R②年度の企業債元利償還金に係る一般会計からの繰出額は、約68億円で全国1位の水準 ※2位は新潟県(13病院)の約34億円
 ○企業債の償還が病院事業の経営にとって大きな影響を与えることを踏まえると、病院事業の安定的で持続可能な経営基盤の構築に向けては、今後の県立病院の更新需要等も勘案しながら、企業債の借入対象のより一層の精査、償還額の平準化を図っていく必要がある。

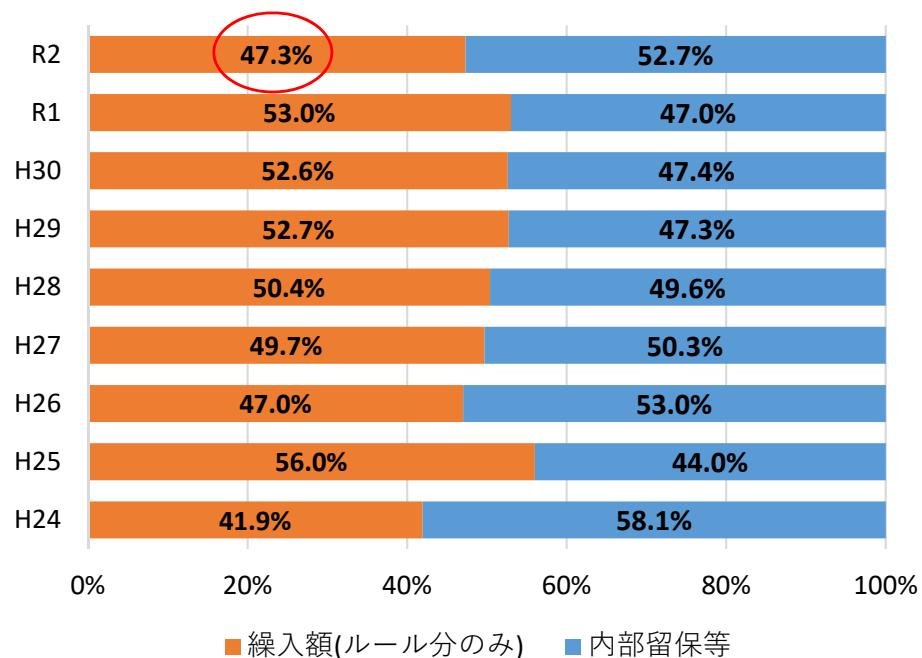
【企業債元利償還金等の推移】

(単位：百万円)



【企業債元利償還金等のうち繰入金の割合】

(単位：%)



(単位：百万円)

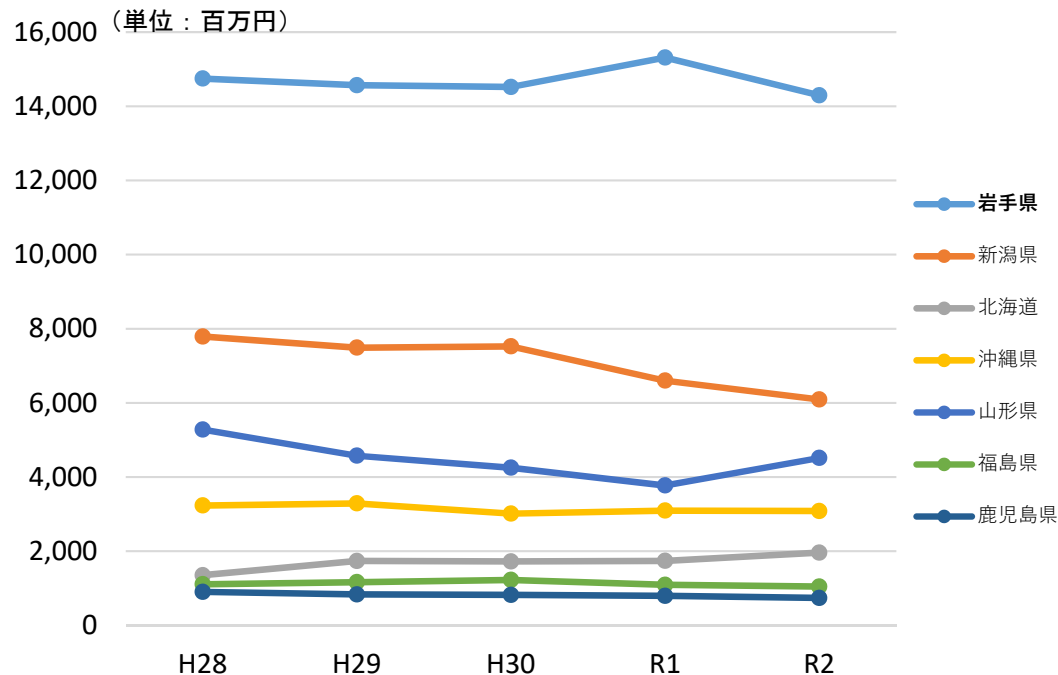
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
企業債借入額	3,235	5,841	4,066	6,180	7,033	7,854	9,544	8,308	7,672
元利償還額	15,492	13,516	13,464	14,137	14,748	14,568	14,520	15,313	14,296
(うち元金)	12,534	10,859	11,012	11,873	12,679	12,674	12,780	13,724	12,857
(うち利息)	2,957	2,657	2,452	2,264	2,069	1,893	1,740	1,589	1,439
年度末現在高	133,395	128,377	121,432	115,739	110,093	105,272	102,036	96,620	91,435
元利償還額のうち繰入金 ※ルール分のみ	6,496 (41.9%)	7,569 (56.0%)	6,330 (47.0%)	7,024 (49.7%)	7,431 (50.4%)	7,681 (52.7%)	7,639 (52.6%)	8,119 (53.0%)	6,764 (47.3%)

企業債元利償還等に係る他県比較①

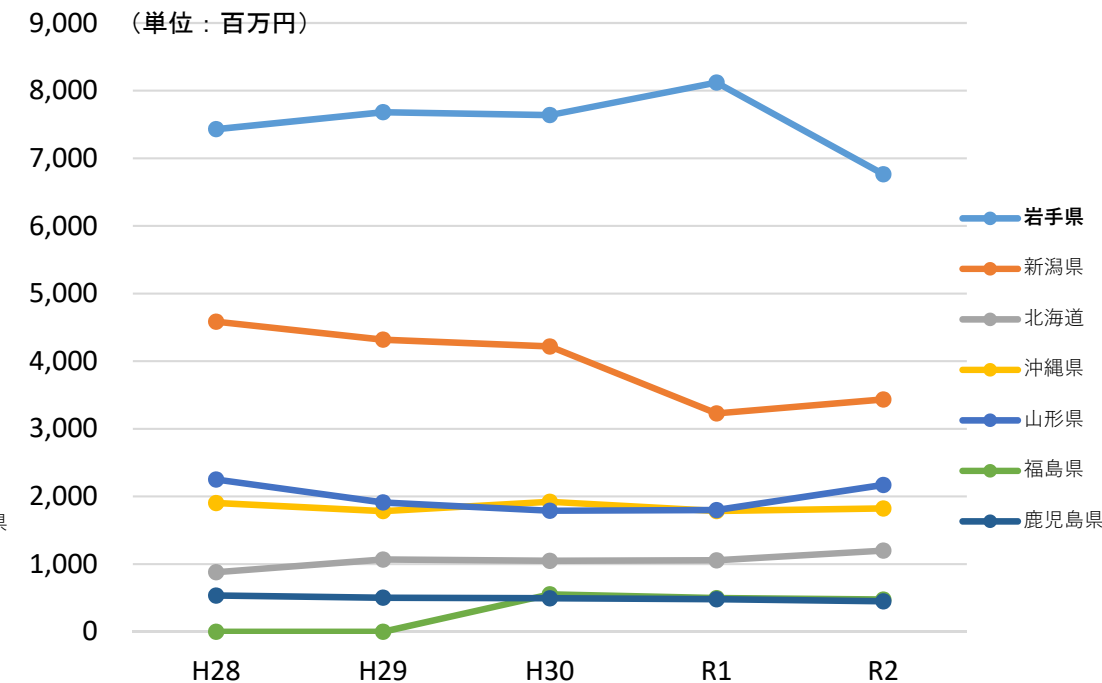
○病院事業の企業債元利償還金について、他県と比較すると、R②年度の本県償還額が約143億円で全国1位の水準であるのに対して、新潟県が約61億円(15病院)、山形県が約45億円(4病院)となっており、極めて高い水準となっている。

○企業債元利償還金に係る一般会計からの繰出額についても、R②年度の本県繰出額が約68億円で全国1位の水準であるのに対して、新潟県が約34億円、山形県が約22億円となっており、企業債元利償還金の水準に比例して極めて高い水準となっている。

【企業債元利償還金の推移（他県比較）】



【企業債元利償還金に係る一般会計からの繰出額の推移（他県比較）】



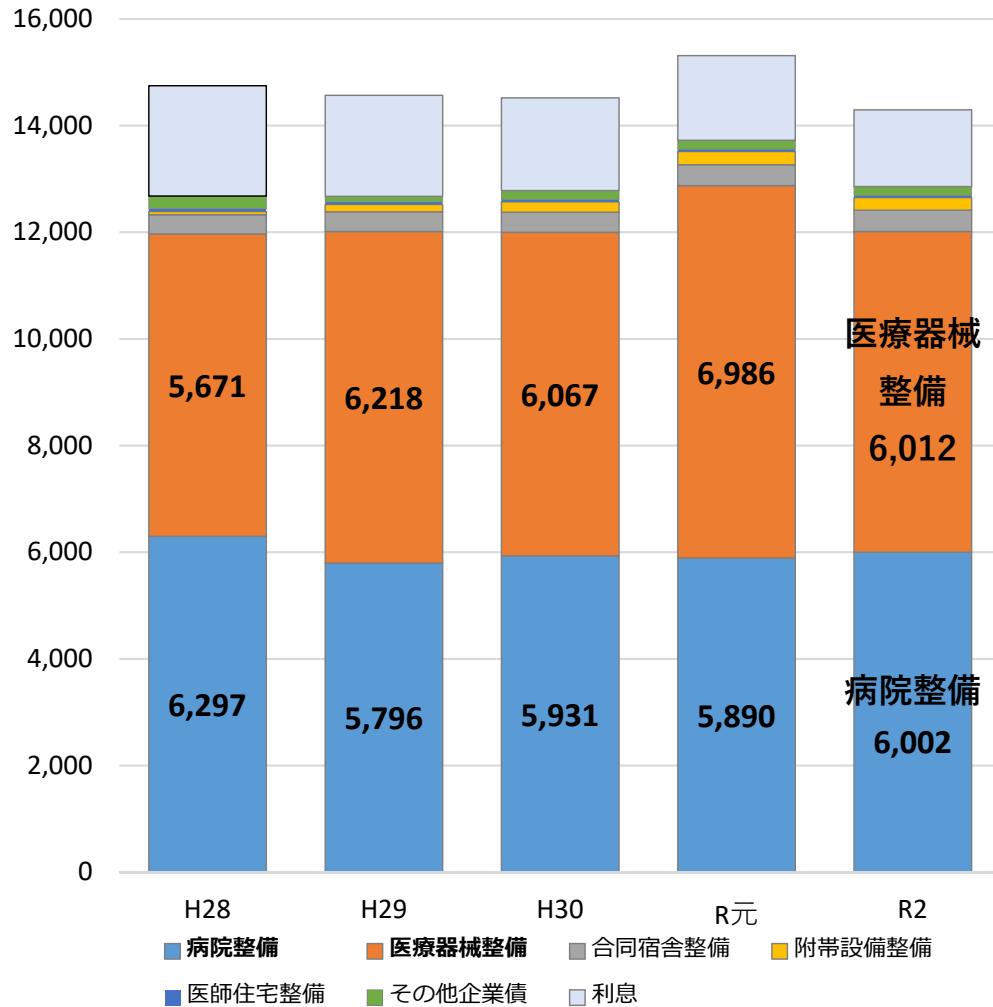
県名	病院数	平均病床数	H28		H29		H30		R元		R2		平均		
			元利償還金	繰出額	元利償還金	繰出額	元利償還金	繰出額	元利償還金	繰出額	元利償還金	繰出額	元利償還金	繰出額	繰出／元利(%)
岩手県	20	240	14,748	7,431	14,568	7,681	14,520	7,639	15,313	8,119	14,296	6,764	14,689	7,527	51.2
新潟県	15	247	7,791	4,584	7,489	4,318	7,525	4,218	6,601	3,228	6,092	3,435	7,100	3,957	55.7
北海道	6	146	1,354	880	1,738	1,069	1,724	1,049	1,739	1,057	1,962	1,200	1,703	1,051	61.7
沖縄県	6	363	3,234	1,904	3,289	1,784	3,014	1,922	3,094	1,785	3,085	1,824	3,143	1,844	58.7
山形県	4	353	5,279	2,250	4,575	1,911	4,252	1,789	3,772	1,799	4,515	2,171	4,479	1,984	44.3
福島県	5	101	1,108	0	1,165	0	1,225	553	1,094	498	1,047	476	1,128	305	27.1
鹿児島県	5	239	903	536	836	504	823	496	796	481	740	451	820	494	60.2

企業債元利償還等に係る他県比較②

- 企業債元利償還金の内訳について、医療機器整備や病院整備に係る経費が大宗を占めており、その他は利息支払い費となっている。
 ※R②年度償還額:約143億円に対して、医療機器整備が約60億円、病院整備が約60億円で約84%を占めている
- 病床1床当たりの固定資産について他県と比較すると、他県が1床当たり約1,100万円(鹿児島県)～約1,800万円(北海道)であるのに対して本県では3,500万円と極めて高い水準となっている(建物:27,222千円、器械・備品:7,628千円)。
- 高水準となっている要因について、会計処理の相違、東日本大震災に起因する病院の新設(高田病院、大槌病院、山田病院)があったことによる固定資産費の押し上げなどの要因が考えられる一方で、現行の病床数に対して建物や医療器械・備品への投資が過剰となっていないか検証する必要。

【企業債元利償還金の推移（岩手県内訳）】

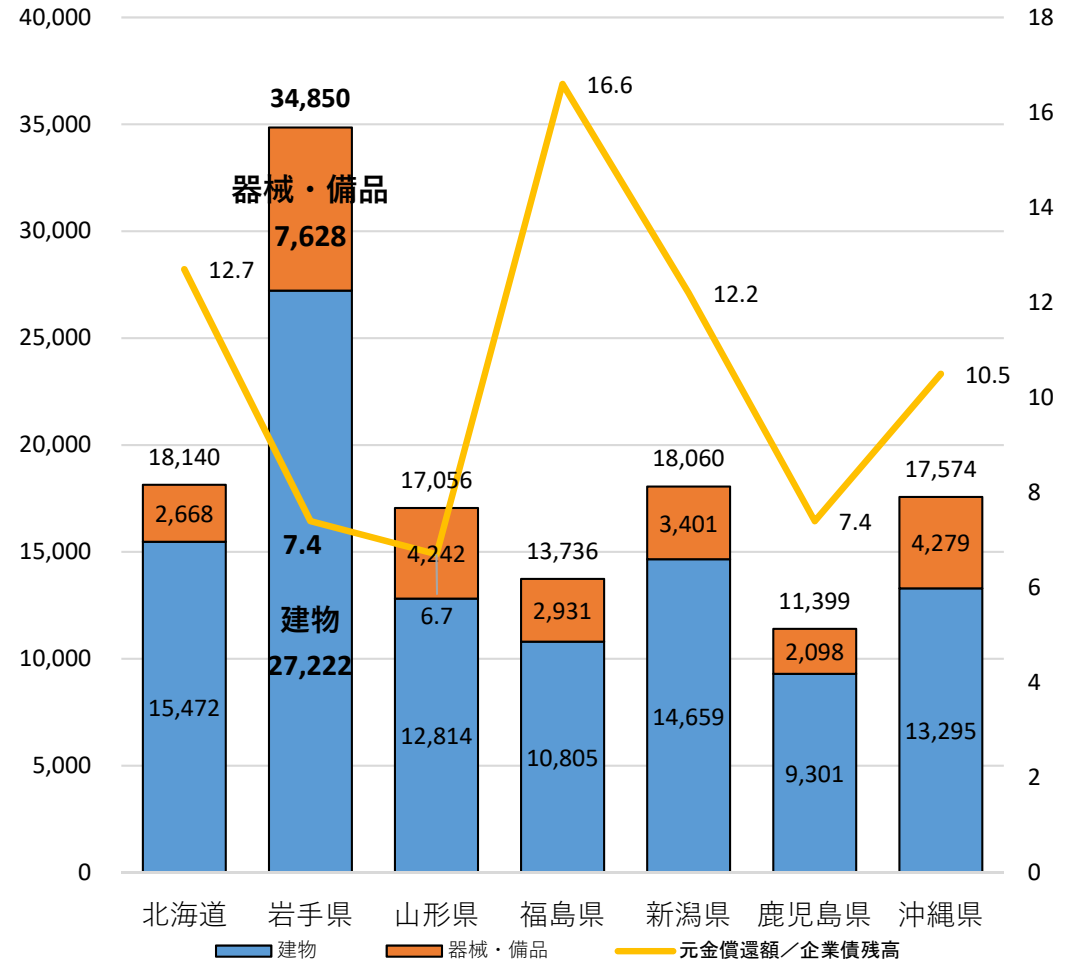
(単位：百万円)



(出) 令和2年度地方公営企業等決算

【1床当たり固定資産（他県比較）】

(単位：千円、年)



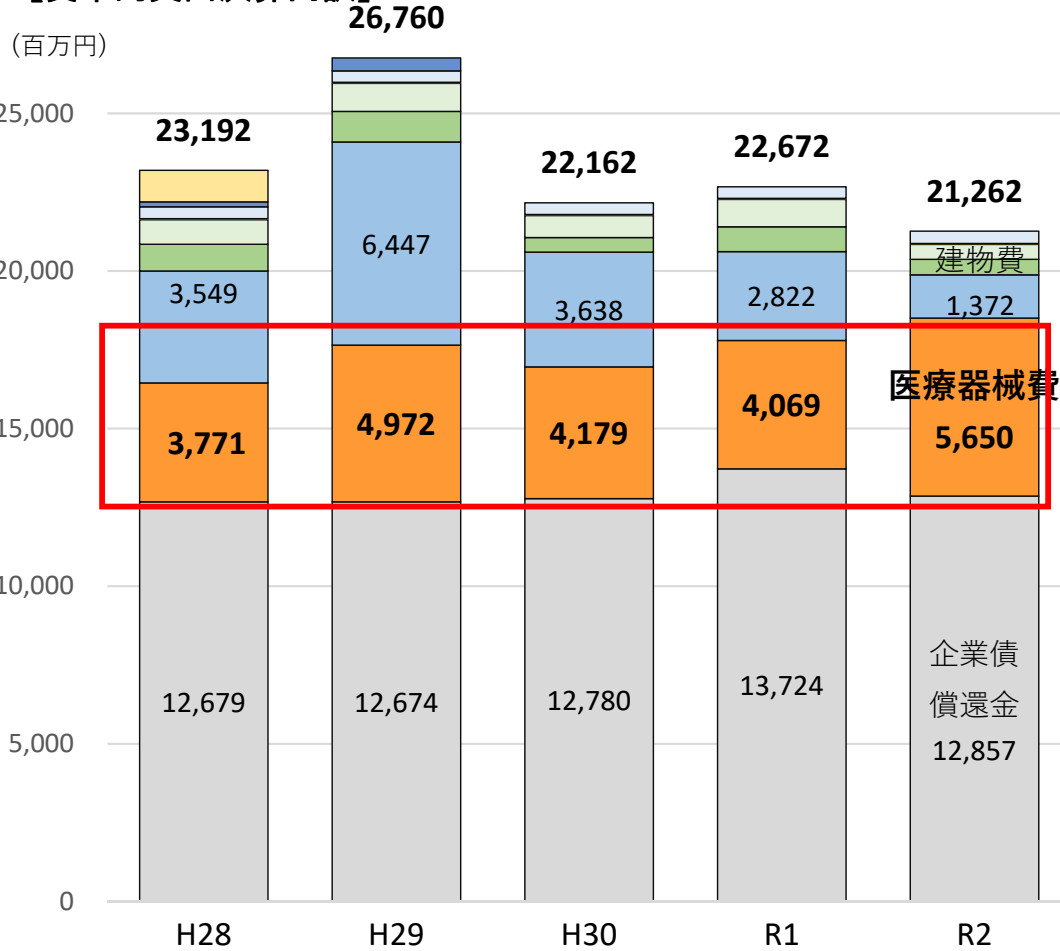
注) 病床は許可病床数

(出) 令和2年度地方公営企業年鑑、地方公営企業等決算

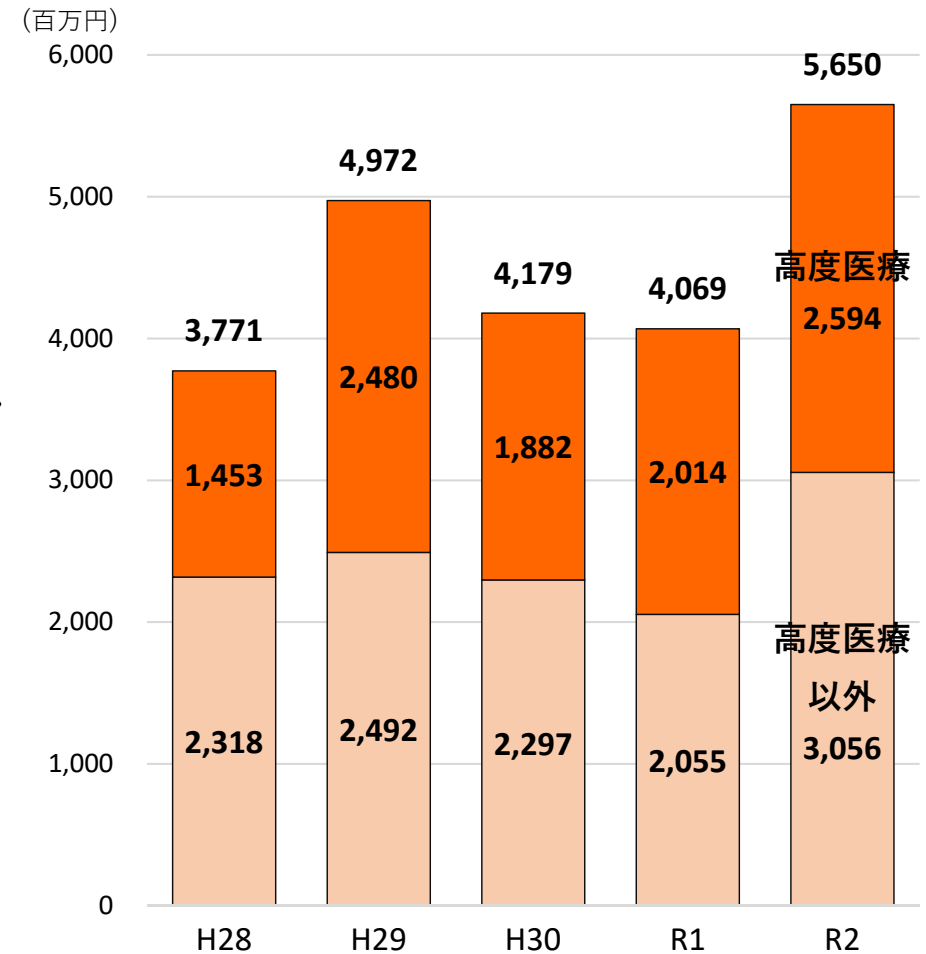
資本的収支の決算状況分析～医療器械費について～

○資本的支出の決算については、過去5年間210～260億円超で推移しており、R②年度は資本的支出で約213億円、その内訳は企業債償還金が約129億円(60.5%)、医療機器費が約57億円(26.6%)と太宗を占めている。その他には建物費(約14億円)などがあるところ。
 ○R②年度決算の医療器械費(約57億円)のうち、高度医療に係る経費が約26億円(45.9%)、その他医療器械費が約31億円(約54.1%)となっている。**※高度医療器械費:取得価格5,000万円以上の医療器械**
 ○高度医療、その他医療器械については毎年度の事業経営を通じて必要性や収益性等を精査していく必要。

【資本的支出決算内訳】



【医療器械費の内訳】



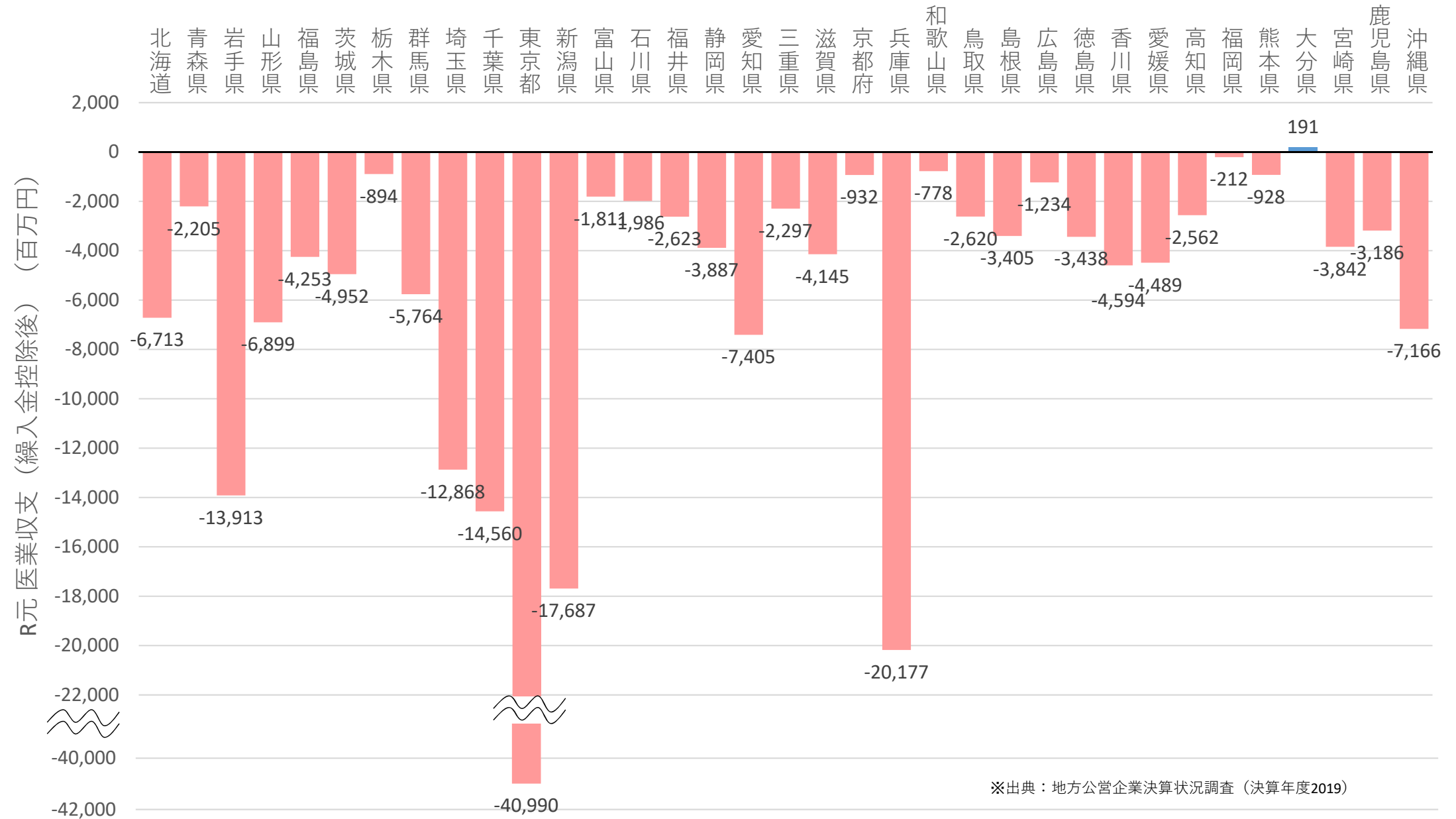
- 企業債償還金
- 医療器械費
- 建物費
- 備品費
- ソフトウェア
- リース資産
- 投資
- 土地費
- 長期借入金償還金

- 高度医療以外
- 高度医療

医業収支の状況（都道府県立病院）

○R元年度の都道府県立病院の医業収支（繰入金控除後）を県単位で集計すると、ほぼ全ての県で赤字の状況。政策医療を担うため黒字化が困難と考えられる。

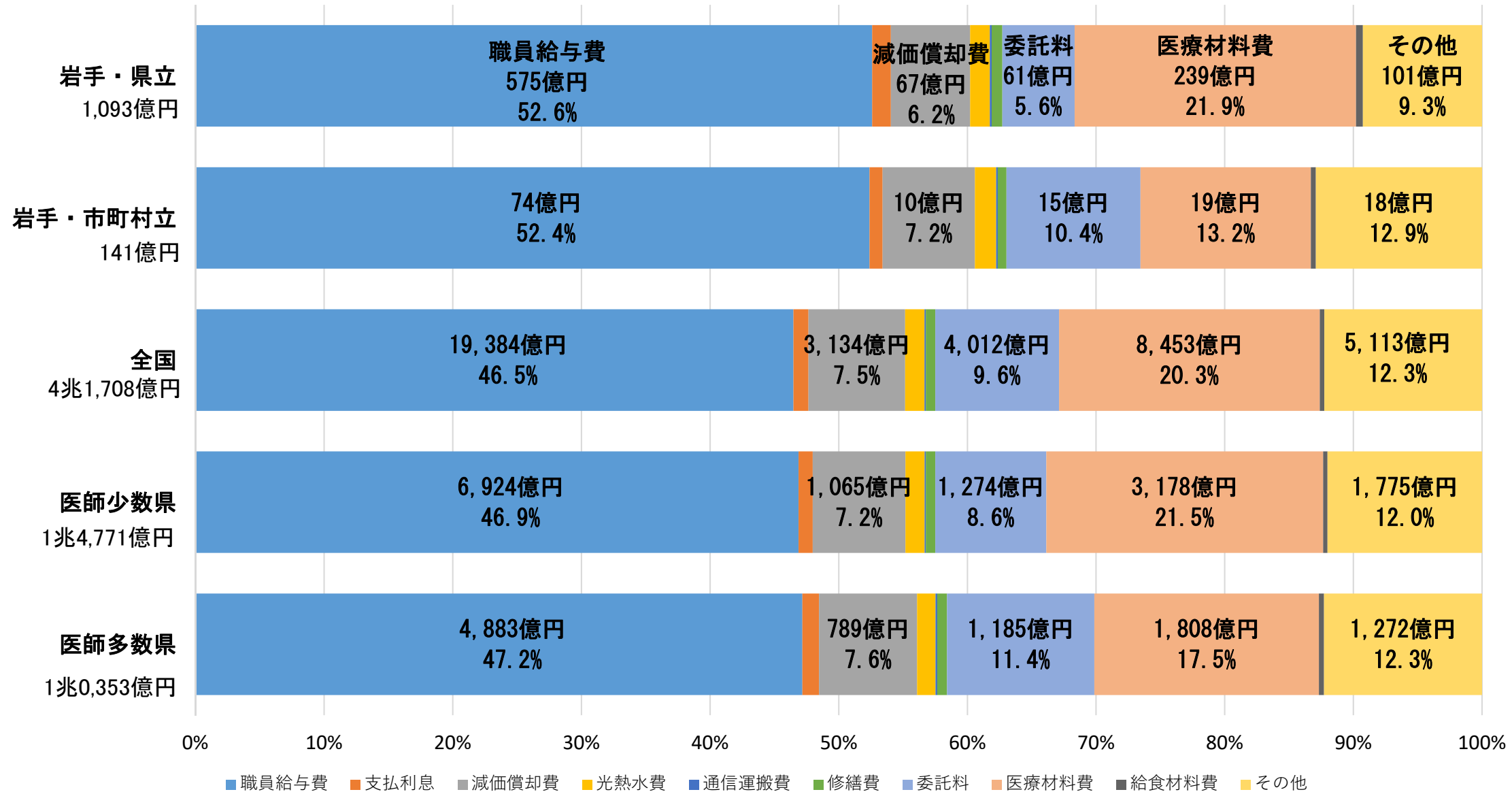
○赤字額は都道府県間で大きな差があり、岩手県の赤字額（-139億円）は東京都、兵庫県、新潟県、千葉県に続く全国5位の規模。



※出典：地方公営企業決算状況調査（決算年度2019）

令和元年度決算 費用構成の比較

○ 岩手県立病院は、全国に比べて職員給与費(岩手県52.6%、全国46.5%)、医療材料費(岩手県21.9%、全国20.9%)の構成比率が高く、委託料(岩手県5.6%、全国9.6%)、減価償却費(岩手県6.2%、全国7.5%)の構成比率が低い。



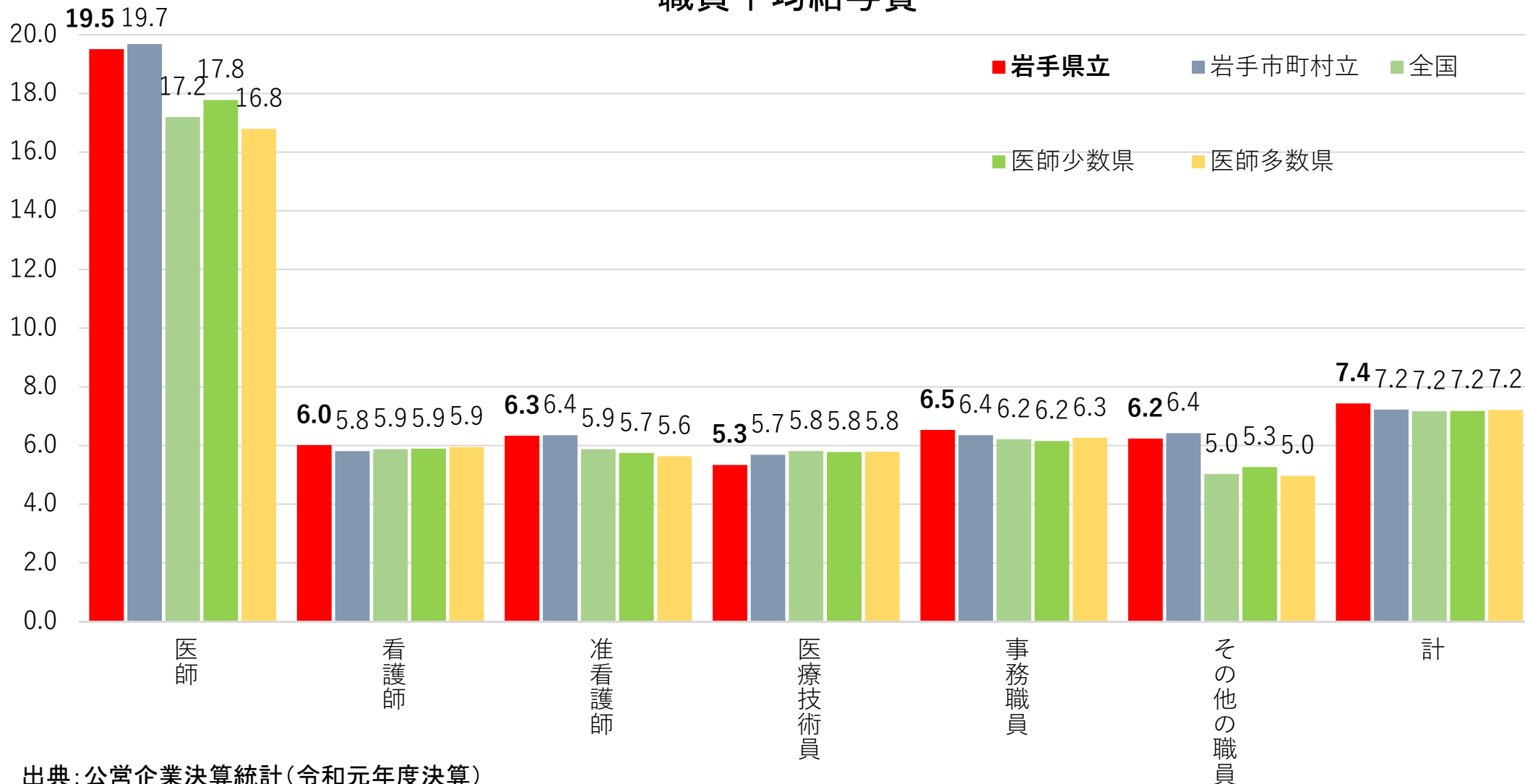
出典：公営企業決算統計(令和元年度決算)

令和元年度決算 職種別平均給与と費の比較

- 職種別の平均給与と費は、本県の県立、市町村立とも医師及びその他の職員が全国水準よりも高い。
- 医師少数県においては医師確保の必要性から、医師の平均給与が高くなる傾向にあるものの、医師少数県と比べても本県の水準は高い水準にあるところ。

職員平均給与と費

(百万円/人)



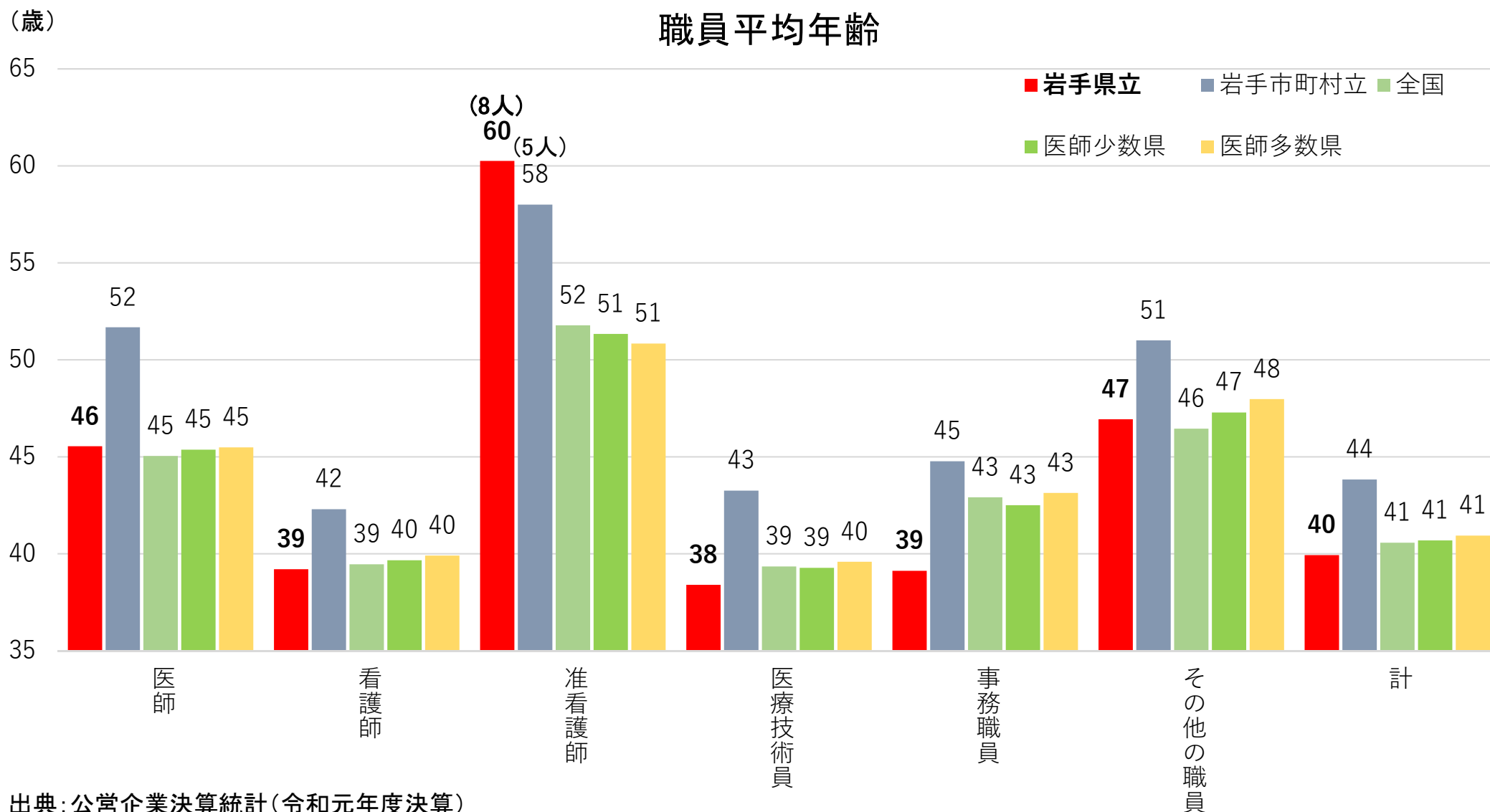
出典：公営企業決算統計(令和元年度決算)

職員は企業管理者及び臨時又は非常勤の職員を除く常勤職員数。(R2.3.31時点)

全国・医師少数県・医師多数県は県立、市町村・一組立の合計。給与費は基本給と各種手当の合計額で算出。

令和元年度決算 職種別職員平均年齢の比較

- 岩手県立病院の職種別の平均年齢は、(人数の少ない准看護師を除き)全国とほぼ同程度か低い水準。
- 一方、岩手県の市町村立の病院の平均年齢は各職種において全国よりも高い水準。



出典: 公営企業決算統計(令和元年度決算)

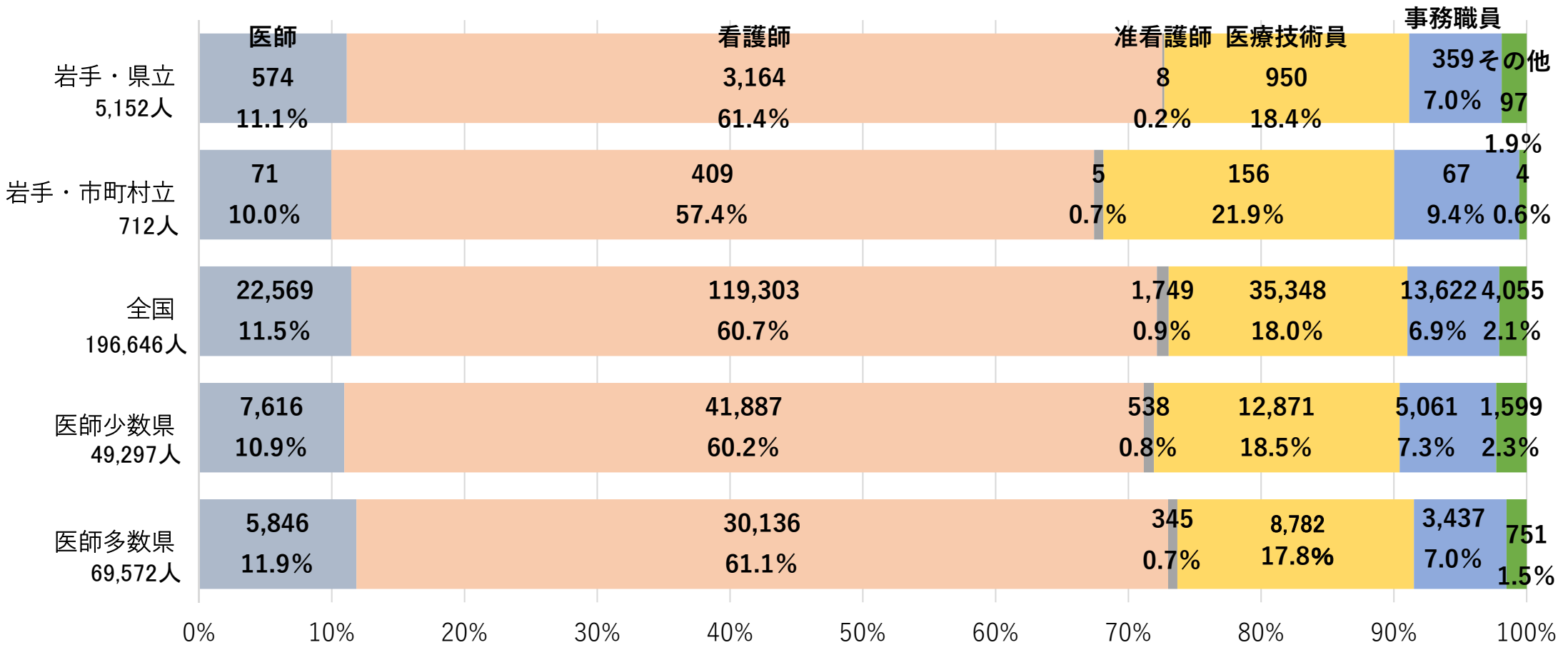
職員は企業管理者及び臨時又は非常勤の職員を除く常勤職員数。(R2.3.31時点)

全国・医師少数県・医師多数県は県立、市町村・一組立の合計。

【参考】令和元年度決算 職種別職員構成の比較

- 岩手県立病院の職員数の職種別構成比率を見ると、県内の市町村立病院と比べて看護師が多い。
- 一方、全国と比べると、医師数、看護師数はほぼ同水準となっている。

職員構成(人)



出典: 公営企業決算統計(令和元年度決算)

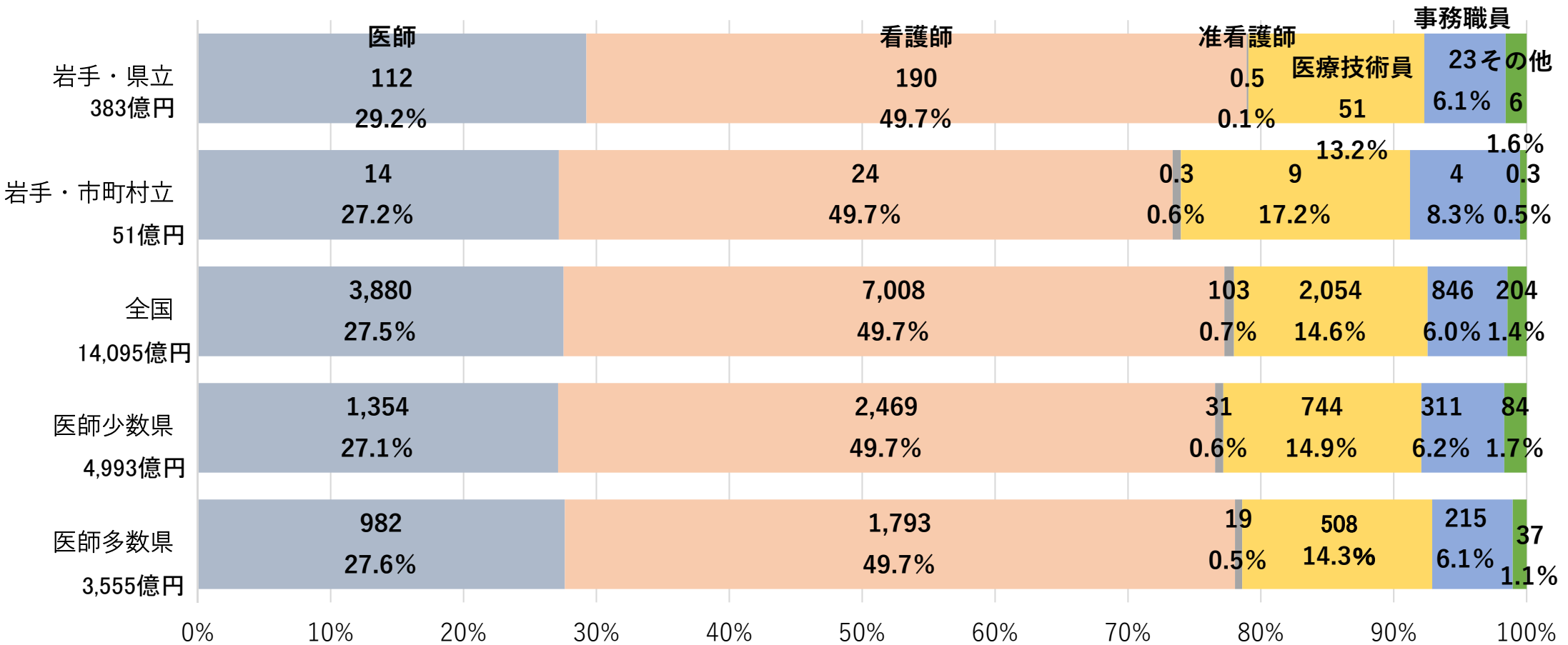
職員は企業管理者及び臨時又は非常勤の職員を除く常勤職員数。(R2.3.31時点)

全国・医師少数県・医師多数県は県立、市町村・一組立の合計。

【参考】令和元年度決算 職種別職員給与費構成の比較

- 岩手県立病院の職員給与費の職種別構成比率を見ると、県内の市町村立病院と比べて医師・看護師の構成率が高い。
- 一方、全国と比べると、医師の構成率が高い。

職員給与費(億円)



出典: 公営企業決算統計(令和元年度決算)

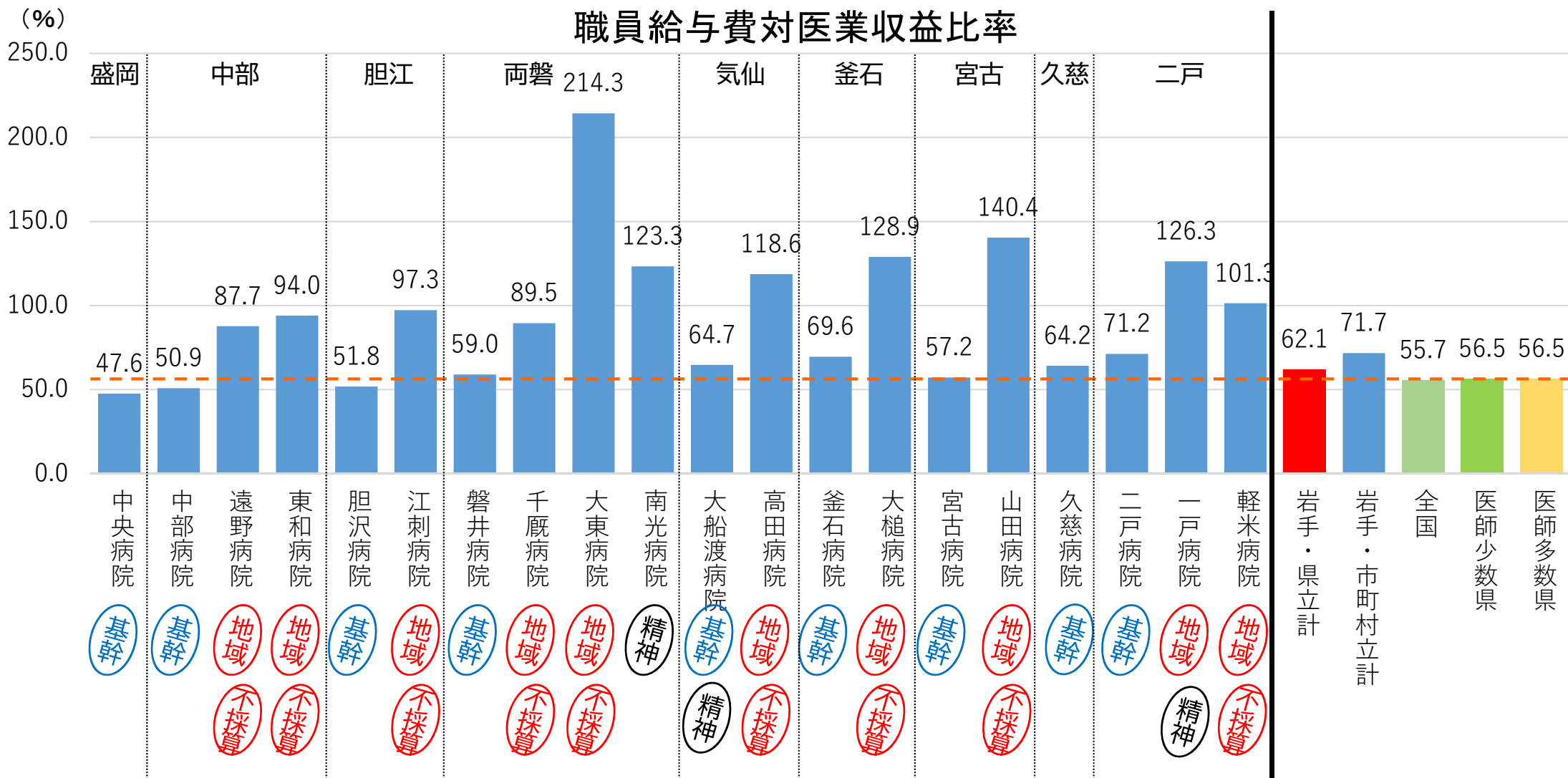
職員は企業管理者及び臨時又は非常勤の職員を除く常勤職員数。(R2.3.31時点)

全国・医師少数県・医師多数県は県立、市町村・一組立の合計。給与費は基本給と各種手当の合計額で算出。

令和元年度決算 職員給与と費対医業収益比率の比較

- 職員給与と費対医業収益比率が高い病院は、職員配置に対して医業収益が少なく、職員配置や給与水準が適正か検討する必要がある。
- 本県県立病院について比較すると、全国平均よりも高い病院が多く、特に地域病院・不採算地区病院の比率は高い。

職員給与と費対医業収益比率



出典：公営企業決算統計（令和元年度決算）

職員は企業管理者及び臨時又は非常勤の職員を除く常勤職員数。（R2.3.31時点）

全国・医師少数県・医師多数県は県立、市町村・一組立の合算に係る加重平均。